



ジョヴァンニ・ソッリマ

100 チェロ

Giovanni Sollima & Enrico Melozzi

コンサート



演奏予定曲
ベートーヴェン 交響曲第九番
J.S.バッハ 無伴奏チェロ組曲第三番
ヘンデル 組曲第11番ニ短調 サラバンド
世界を売った男(デヴィッド・ボウイ)

ハレルヤ(レナード・コーエン)
タランテッラ(イタリア南部の舞踏曲)
チェロよ、歌え!(ジョヴァンニ・ソッリマ)
サウンド・オブ・フォーリング・ウォールズ(メロッツィ)



推薦コメント

ジョヴァンニ・ソッリマ氏の「チェロよ、歌え」を初めて聴いた時、そのドラマ性と静かに畳み掛けるような
ミニマル・ミュージックの調べに魅了され「こんな漫画が描きたい!」と、筆を取ってしまった次第です。
全く未知の世界だったチェロについて、勉強を重ねながら、そのあまりの深さに四苦八苦することもあります
何か迷った時、「チェロよ、歌え」を聴くと、不思議と次への指針を示されたような気持ちになります。
一人でも多くの日本人にソッリマの音楽を聴いてほしい、そしてソッリマが毎年日本に来なくなっちゃうくらい、
日本でのソッリマ人気が発見してほしい、と心から願っています。

チェロの音が紡ぐ、
二人の少年の魂の物語



©穂積/小学館

穂積

漫画家(月刊flowersにて「僕のジョヴァンニ」連載中)

ジョヴァンニ・ソッリマ 100チェロコンサート
〜ソッリマと100人のチェリストたち〜

2019年8月12日(月・祝) 開演18:00(開場17:15)
すみだトリフォニーホール [大ホール]

全席指定 6,000円 / 中学生以下3,000円(税込)
すみだ区割(区在住在勤)4,800円、すみだ学割(区在住在学の小・中・高校生)1,000円(税込)
※すみだ区割は、トリフォニーホールチケットセンターのみ取り扱い

お申込み
お問合せ **トリフォニーホールチケットセンター**
03-5608-1212 (10:00~18:00) www.triphony.com

プランクトン 03-3498-2881(平日11:00~19:00) plankton.co.jp
チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード: 146-915) pia.jp (セブンイレブンでも購入可能)
イープラス eplus.jp (ファミリーマートでも購入可能)



JR & 東京メトロ「錦糸町駅」より徒歩5分 / すみだ北斎美術館より徒歩10分
〒130-0013 墨田区錦糸1-2-3

@TriphonyHall facebook.com/SumidaTriphonyHall



来日記念盤 2019/6/26(水)発売

ジョヴァンニ・ソッリマ 「we were trees」

VITO-474 / 定価2,700円+税
解説:松山晋也

ソッリマの代表曲「チェロよ、歌え!」を収録。
参加アーティスト:モニカ・レスコヴァル(チェロ)、カレイドスコープ・ソロイス
ツ・アンサンブル、パティ・スミス(歌と詩)

- | | |
|--------------------|-------------------------|
| 01. チェロよ、歌え! | 07. ツリー・ラーガ・ソング |
| [L.B.ファイル] | [ホエン・ウィ・ワー・ツリース] |
| 02. コンチェルト | 08. レゾナンス・ウッド(ヴァイオリンの森) |
| 03. イジウル | 09. アーキテクト |
| 04. ボッケリー二氏のファンダンゴ | 10. 木の葉のハガキ |
| 05. ボッケリー二風 | 11. デンジャラス・プレヴァランス・オブ・ |
| 06. イエット・キャン・アイ・ピア | イマジネーション |
| | 12. ニヤグロ・ダ |
| | 13. ファミリー・ツリー(ヴィヴァルディ) |

すみだトリフォニーホール



文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会

公演WEBサイト <http://plankton.co.jp/100cellos/>

フェスタサマ・ミュージック KAWASAKI 2019 ジョヴァンニ・ソッリマが出演!! 問:ミュージック川崎シンフォニーホール 044-520-0200(10:00~18:00)

8月6日(火) 19:00開演 ミュージック川崎シンフォニーホール 東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団 指揮:藤岡幸夫 チェロ:ジョヴァンニ・ソッリマ

シベリウス:「レンミンカイネン組曲」から「レンミンカイネンの帰郷」 ドヴォルザーク:チェロ協奏曲 芥川也寸志:交響曲 第1番 【料金(税込)】S4,000 / A¥3,000 / B¥2,000 【4月26日(金)一般発売開始!】

チェロよ、歌え!

ジョヴァンニ・ソッリマ
エンリコ・メロッツィ

100 チェロ コンサート

Giovanni Sollima & Enrico Melozzi

イタリア・シチリア島の偉大な作曲家 &
チェロ奏者、ソッリマ・ソッリマ・ソッリマの
国境を越えて世代を越えて
100人の
チェリストが集う、
かつてない壮大なステージ!



チェロ奏者ソッリマ・ソッリマ・ソッリマ

2019年8月12日(月・祝) すみだトリフォニーホール
17:15 開場 / 18:00 開演 全席指定 6,000円 / 中学生以下 3,000円(税込)

主催:すみだトリフォニーホール 企画制作:プランクトン 後援:イタリア大使館、イタリア文化会館 協力:アリアリア-イタリア航空

チェロの魔王

ジョヴァンニ・ソッリマ

Giovanni Sollima

「彼の前では、僕はまるで子猫のようなもの。彼はチェロの超達人で、怖いもの知らずだ」
(ミー・マ)



ヨーヨー・マとソッリマ



2CELLOSとソッリマとミッシェル・マイスキー

「ソッリマとAC/DCの曲を共演したんだ。僕らの夢が叶ったよ！」(2CELLOS)

「ヨーヨー・マと喝采を二分する男」
(シカゴ・クラシカル・レビュー)

「彼は、チェロ界のジミ・ヘンドリクスだ」
ジャスティン・ダヴィッドソン(ビューリッツァー賞受賞の批評家)

数々の世界一流ホールで演奏!

カーネギー・ホール、マーキン・ホール、ブルックリン・アカデミー、クイーン・エリザベス・ホール、ウィグモア・ホール、シドニー・オペラ・ハウス、サル・カヴォー、リスト・アカデミー...etc

幅広い音楽性

バッハからジャズ、ロック、現代音楽、中東~アフリカに及ぶ民族音楽まで

世界中の一流アーティストと共演!

ヨーヨー・マ、フィリップ・グラス、マルタ・アルゲリッチ、パティ・スミス、クラウドイオ・アバド...etc

規格外のエピソードの数々!

- ミラノ市がExpo2015のテーマ曲を委嘱!
- ラッセ・イェルツェン監督によって制作された“Terra Aria”のミュージック・ビデオがyoutubeで約1,500,000回の再生を記録!
- イタリアのフェス“La notte della taranta”(13万人動員)のディレクターを2年連続務める!

プロフィール

1962年イタリア・シチリア州パレルモ出身。音楽家一家に生まれたソッリマは、パレルモ音楽院で、Giovanni Perrieriaからチェロを学び、卒業後、シュトゥットガルト音楽大学とモーツァルテウム音楽大学で、チェロをアントニオ・ヤニコロに、作曲をミルコ・ケレメンについて学んだ。これまでクラウドイオ・アバド、フィリップ・グラス、ヨーヨー・マなど多くの巨匠と共演。アメリカではパティ・スミスのコラボレーションも行い、映画や舞台の音楽なども数多く提供している。

葛飾北斎の「波」からのインスパイア

墨田区と縁の深い日本を代表する天才・浮世絵画家、葛飾北斎。ソッリマは北斎の作品に強く感銘を受けており、今回の公演でも北斎の絵、とくに北斎の描く波に触発された楽曲を演奏すること。また、コンサートに向けて北斎の波をテーマにした作曲コンクールを開催し、選ばれた楽曲をコンサートで披露予定! (作曲コンクールは裏面参照)



ヨーヨー・マ、マリオ・ブルネロ、2CELLOS...
天才達が絶賛する鬼才チェリスト、ジョヴァンニ・ソッリマ



話題の「100チェロ」が、ついに日本に初上陸!

「100チェロ」は、世界的な天才・鬼才チェリスト、ジョヴァンニ・ソッリマを中心に、国境、世代、キャリア、ジャンルを超えて100人のチェリストが集い、圧倒的なエネルギーに溢れたチェロ・アンサンブルを披露する創造的かつ革新的なプロジェクト。ソッリマのもと、クラシックからバロック、ロックにワールド・ミュージックまで、様々なジャンルの楽曲を自由な発想と表現欲の赴くままに芸術性の高いアートへと昇華する。これまでヨーロッパ各地で繰り返し開催され大反響を呼び、垣根を超えた自由な音楽文化の発信を続けている。



100チェロに参加するチェリストは、下は子供から上は80代までと様々。さらに世界各国からチェリストが集まり、プロ/アマ、ジャンルを問わず、自由なエネルギーに溢れた表現を生み出す。

100チェロの経緯

「100チェロ」は2012年にローマで発足した。もともと、18世紀に建てられたローマの由緒あるヴァッレ劇場が閉鎖されることに反対し、ヴァッレ劇場を守るためにその創造エネルギーを高める企画として、ジョヴァンニ・ソッリマが友人のチェリスト、エンリコ・メロッツィと共に立ち上げた。ヴァッレ劇場はその後3年間に渡りヨーロッパ中の演劇、音楽、舞踊のアーティストたちが占拠し、演目を創造。見事復活を成し遂げ、今ではその占拠活動はアート・カルチャーの「神話」となっている。ソッリマはその後100チェロ・プロジェクトを発展させ、2014年には、かつて巨匠ロストロポヴィチが166人のチェリストを集めて行ったベルリンの壁崩落10周年記念公演の理念を継ぐ存在として、「自由」と「音楽文化」を守るというメッセージを込めた第2回公演を100チェロで開催。その後もブダペストやミラノ、シチリアなど多数の場所で展開し、国籍を問わず、東欧の音楽家、アジアの音楽家、アフリカのアーティストにもスポットをあて、「世界を垣根なく音楽で繋ぐ」場として、開かれたトポスを作り上げている。



ジョヴァンニ・ソッリマ
100チェロ
コンサート
Giovanni Sollima & Enrico Melozzi

過去の演奏曲目例

クラシック
ベートーヴェン 交響曲第九番 J.S.バッハ 無伴奏チェロ組曲第三番
ヘンデル 組曲第11番二短調 サラバンド/ プラームス ピアノ協奏曲第二番

ロック

スマルズ・ライク・ティーン・スピリット(ニルヴァーナ)
ハレルヤ(レナード・コーエン) 世界を売った男(デヴィッド・ボウイ)
アナザー・ブリック・イン・ザ・ウォール(ピンク・フロイド)
パープル・レイン(プリンス)

その他、バロック・古楽、民族音楽、オリジナル楽曲など

コールド・ソング(ヘンリー・パーセルの音楽劇「アーサー王」より)
リベルタンゴ(ピアソラの楽曲) タランテラ(イタリア南部の舞踏曲)
チェロよ、歌え!(ジョヴァンニ・ソッリマの代表曲)

国境を超えて、世代を超えて、キャリアを超えて、音楽を通して世界を繋ぐ
100本のチェロが、音楽と表現の自由を謳い上げる壮大なプロジェクト